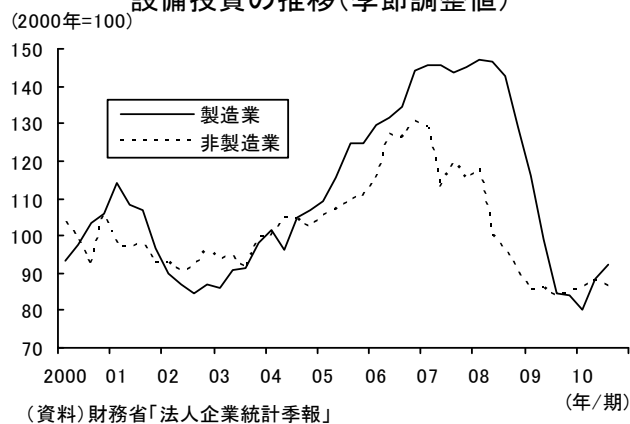


7～9月期2次QE予測

- (1) 7～9月期の法人企業統計季報では、設備投資（ソフトウェアを含む）が前年比+5.0%と2007年1～3月期以来のプラスに転化。前期比でみても+1.9%（ソフトウェアを除くベース）と、4～6月期（同+5.3%）対比増勢が鈍化したものの、2四半期連続してプラスを維持。非製造業が不動産、情報通信業を中心に同▲0.8%と不振であった一方で、製造業が同+7.3%と、輸送機械、情報通信機械などを中心に持ち直したことが主因。
- (2) 今般の法人企業統計を踏まえ、2次QEにおける実質設備投資は前期比+0.9%と、1次QEの前期比+0.8%から小幅上方修正される見込み。前期比年率では+3.6%と+3.2%から上方修正。この結果、実質GDP成長率は前期比+1.0%と、1次QEの前期比+0.9%から小幅上方修正を予想（前期比年率では+3.9%で不変）。

(図表1) 7～9月期法人企業統計季報
設備投資の推移(季節調整値)



(図表2) 7～9月期GDP統計予測表
<2010年12月2日時点の公表系列をもとに作成> (%)

	前期比	前期比年率
実質GDP	1.0	3.9
内需	1.0	3.9
民需	1.3	5.3
個人消費	1.1	4.7
住宅投資	1.3	5.4
設備投資	0.9	3.6
民間在庫 (寄与度)	0.1	0.5
官公需	▲0.1	▲0.4
政府消費	0.1	0.5
公共投資	▲0.8	▲3.2
公的在庫 (寄与度)	▲0.0	▲0.1
外需 (寄与度)	▲0.0	▲0.1
輸出	2.4	10.0
輸入	2.7	11.2
名目GDP	0.8	3.2
デフレーター	▲0.2	▲0.6